

第5学年 体育科（保健領域）学習指導案

令和6年 月 日（ ） 校時
小学校 5年 組 名
授業者

1 単元名 「けがの防止」

2 単元について

本単元は、小学校学習指導要領第5・6学年の目標（1）「各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。」を受け、内容 G 保健（2）「ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること」、「イ けがを防止するために、危険の予測や回避方法を考え、それらを表現すること」に沿って設定されたものである。

事故やけがが発生するときには、それが起こる要因があり、人の行動や、心理状態、または、周りの環境等が大きな影響を与えている。そのため、事故やけがが起こる様々な要因についてよく知り、事前に防止できるようになることが重要となってくる。また、けがをした時に適切な対処ができるようになることは、自分の健康の保持増進、管理をしていく上でも重要になる。本単元では、児童を取り巻く様々な環境において、隠れている危険や安全な行動を理解すること、適切な判断のもと速やかに簡単なけがの手当ができるようになることをねらいとしている。

3 児童の実態

本学級の児童は、明るく、活発な児童が多い。休み時間には、運動場で、おにごっこやドッジボールをするなど、活気に満ちている。しかし、運動場という限られたスペースを、他学年と使用するなかで、児童同士が接触し、すり傷や、打撲で保健室に来室する児童が多い。また、校内では、休み時間に遊びに行くときや委員会の仕事に向かうとき等、急ぐ気持ちが強く、廊下を走ったり階段を飛び降りてしまったりと、けがにつながるような行動をしてしまう児童もいる。このことから、けがを防ぐための意識や行動を身に付けることが必要であると考えます。

4 指導観

これまでの経験や、児童の現状を踏まえて、事故やけがはだれにでも起こりうる身近な問題であると児童が意識することができるようにする。そのために、事故やけがが身近に起こりうる可能性のある具体的な例をもとにしながら話し合い活動を行う。また、事故やけがが起こる原因の防止策や自分でできるけがの簡単な手当等を考えることで、適切な判断を行う視点を増やし、自分の健康の保持増進や管理をしていく意識を高め、自分でできることに進んで取り組もうとする態度を養う。

5 単元目標

- (1) 交通事故や身近な生活におけるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることや、けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があることを理解することができるようにする。
- (2) けがを防止するために、危険の予測や回避の方法、けがの手当について、これまでの経験や学習活動をもとに考えたり選んだりして、それらを表現することができるようにする。
- (3) 健康や安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復のために自分でできることを進んで取り組むことができるようにする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①交通事故や身近な生活におけるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、適切な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解している。 ②けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があることを理解することができるとともに、自らできる簡単な手当などの技能を身に付けることができる。	①交通事故や身近な生活におけるけがの原因やその防止に関する課題を見つけ、その解決方法を話し合っている。 ②自分のけがに関わる経験を振り返ったり、学習したことを活用したりして、危険の予測や回避の適切な方法を考えたり、選んだりしている。 ③けがの手当について、適切な方法を考えたり、選んだりしている。	①けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。 ②健康や安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復のために自分でできることについての学習に進んで取り組もうとしている。

7 単元計画（4時間）

時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	1 学校生活でのけがの防止 ・学校生活でのけがはどのように起こるかを考える。 事故やけがは人の行動と環境が原因で起こることを理解する。 ・学校での事故やけがを防止していくための方法について考えていくことを確認する。	①		①	知識・技能 ①【発言・ワークシート】 主体的に学習に取り組む態度 ①【発言・ワークシート】

2	2 交通事故の防止 ・交通事故を防ぐために危険を予測して、それを回避する方法を考える。		②		思考・判断・表現 ②【観察・ワークシート】
3	3 地域での安全 ・地域での事故やけがの原因を知る。 ・事故やけがを防ぐために、危険を予測して回避する方法を考える	①	①		知識・技能 ①【観察・ワークシート】 思考・判断・表現 ①【発言・ワークシート】
4 (本時)	4 けがの手当 ・学校で起こっているけがについて知り、今後、起こりうるけがについて考える。 ・けがの手当について、適切な方法を考えたり、選んだりして伝える。 ・けがをしたときに自分でできる簡単な手当の方法を知り、実践する。 ・けがの簡単な手当は、適切な判断のもと速やかに行う必要があることを理解する。 ・自己の健康の保持増進や回復のために自分でできることについて確認する。	②	③	②	思考・判断・表現 ③【観察・ワークシート】 知識・技能 ②【観察・発言】 主体的に学習に取り組む態度 ②【観察・発言】

8 本時の学習

(1) 目標

- ・けがの簡単な手当の技能を身に付け、適切な判断のもと速やかに行う必要があることを理解することができるようにする。
- ・けがの手当について、適切な方法をこれまでの経験や学習活動をもとに考えたり、選んだりして、それらを伝え合うことができるようにする。
- ・自己の健康の保持増進や回復のために自分でできることについての学習に進んで取り組もうとしている。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
2分	1 本時の課題を知る。	○保健室で手当をしているけがの発生状況をグラフで示すことで本時の課題の見通しをもたせる。		
3分	簡単なけがの手当をマスターしよう			
	2 今後、起こりうるけがを予想する。	○イメージしやすいように、これまでにけがで保健室に来室した児童の例を提示する。		
15分	3 けがの手当について考える。	○班で話し合った内容をまとめやすいようにタブレットを活用する。	○けがの手当について、適切な方法を考えたり選んだりしたものを伝えている。 【思】	観察 発言
10分	4 自分でできる簡単な手当について知り、実践する。	○養護教諭が実際に正しい手当について実践することで、適切な手当を知り、実践する。	○けがをしたときに自分でできる簡単な手当の方法を知り実践している。【知】	観察 ワークシート
10分	5 けがをしたとき、どのような判断をしたらよいのかを考える。	○具体的な場면을提示し、正しい状況判断ができるように確認する。	○自己の健康の保持増進や回復のために自分でできることについての学習に進んで取り組んでいる。 【態】	観察 発言
5分	6 単元の学習内容を振り返る。	○本時でのまとめをワークシートに記入し、分かったことや気付いたことを発表させる。		

(3) 評価する状況と具体的な支援

「十分満足できる」と判断される状況	<ul style="list-style-type: none">・ けがの手当について自分の生活と結びつけて、意欲的に取り組むことができています。・ 簡単なけがの手当の方法を知り、意欲的に実践している。・ けがの簡単な手当は適切な判断のもと、速やかに行う必要があることについて具体例を挙げてワークシートにまとめている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な支援	<ul style="list-style-type: none">・ 簡単なけがの手当について、実習やスライドで、わかりやすく説明する。・ けがの手当が状況に合っているか助言する。・ けがの簡単な手当は適切な判断のもと、速やかに行う必要があることについて具体例を示し、まとめ方を助言する。